

平成25年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

●予算編成の考え方

島根県立大学は、平成19年度に3大学が統合・法人化し、3キャンパスの基盤づくりと教育研究の活性化に努めてきました。また、平成22年度に制定した「島根県立大学憲章」に掲げる理念に沿い、全学を挙げて積極的に大学運営に取り組んできたところです。

平成25年度は第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の最初の年度にあたり、第1期中期目標期間評価を受けるとともに、これまでの取組の成果を継承し、第2期中期計画の達成に向けた取組が必要となります。

また、県の運営費交付金が効率化を促す趣旨から毎年度減額される中、平成25年度以降においても、効率化を継続する方針が示されており、自律的な運営のための経費削減努力、効果的な事業執行、自己財源の確保等が引き続き求められています。

このため、平成25年度予算案は、「年度計画」及び「重点項目」を踏まえ、中期計画が着実に実行できるよう、教育の質の向上、学生支援の充実、競争的外部資金事業の後継対策、研究の支援、業務の改善、大学環境整備の充実、さらに、東日本大震災を契機として公立大学として求められる対応などに留意しつつ編成を行いました。

●予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、30億75百万円で、前年度予算（33億42百万円）に比べ、8.0%減（2億66百万円減）となっています。

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度当初	平成24年度当初	増 減	増減率
予算規模	3,075,479	3,341,960	▲266,481	▲8.0

2. 収入予算

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度当初		平成24年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,764,860	57.4	1,769,264	52.9	▲4,404	▲0.2
学生納付金	999,993	32.5	988,353	29.6	11,640	1.2
県補助金(四大化除)	102,393	3.3	43,716	1.3	58,677	134.2
外部補助金等	58,573	1.9	26,488	0.8	32,085	121.1
寄附金	47,000	1.5	40,000	1.2	7,000	17.5
その他収入	85,768	2.8	85,288	2.6	480	0.6
計	3,058,587	99.5	2,953,109	88.4	105,478	3.6
運営費交付金(退手)	16,892	0.5	117,555	3.5	▲100,663	▲85.6
県補助金(四大化)	0	0.0	163,163	4.9	▲163,163	▲100.0
積立金取崩収入	0	0.0	108,133	3.2	▲108,133	▲100.0
合 計	3,075,479	100.0	3,341,960	100.0	▲266,481	▲8.0

○運営費交付金は、効率化（▲1.0%）、標準収入の見直し、移行期調整費の廃止等により、総額で4百万円減（▲0.2%）（退職手当除き）となっています。

○県補助金（大規模修繕等の特殊要因経費に対し10/10補助）は、通常事業分（松江キャンパス給食管理実習室厨房機器整備・設備工事等、浜田キャンパス講堂映像音響機器更新）及び神々の国しまねプロジェクト分を予定し、59百万円増（+134.2%）となっています。

○外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、32百万円増（+121.1%）となっています。

○寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金事業及び旧北東アジア学術交流財団寄附金事業に充てるための収入を計上し、7百万円増（+17.5%）となっています。

3. 支出予算

(単位:千円、%)

区 分	平成25年度当初		平成24年度当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	248,886	8.1	266,027	8.0	▲17,141	▲6.4
研究経費	173,607	5.6	156,340	4.7	17,267	11.0
教育研究支援経費	166,481	5.4	221,227	6.6	▲54,746	▲24.7
人件費(退手除)	1,889,227	61.4	1,824,798	54.6	64,429	3.5
一般管理費	402,066	13.1	458,437	13.7	▲56,371	▲12.3
施設費事業(四大化除)	85,359	2.8	38,620	1.2	46,739	121.0
受託事業等	81,004	2.6	52,966	1.6	28,038	52.9
予備経費	11,957	0.4	44,173	1.3	▲32,216	▲72.9
計	3,058,587	99.5	3,062,588	91.6	▲4,001	▲0.1
人件費(退職手当)	16,892	0.5	117,555	3.5	▲100,663	▲85.6
施設費事業(四大化)	0	0.0	161,817	4.8	▲161,817	▲100.0
合 計	3,075,479	100.0	3,341,960	100.0	▲266,481	▲8.0
特定財源支出除き	2,875,190		2,856,427		18,763	0.7

○教育経費は、マイナスシーリングによる経費節減や教育備品更新経費の減等により、17百万円の減を見込んでいます。

○研究経費は、神々の国しまねプロジェクト～国際学術シンポジウム2013関係経費の増等により、17百万円の増を見込んでいます。

○教育研究支援経費は、マイナスシーリングによる経費節減や大学認証評価(外部評価経費)の減、浜田・出雲キャンパスのパソコン・プリンター更新経費の減等により、55百万円の減を見込んでいます。

○人件費(退職手当を除く)は、人勧影響による増、出雲キャンパス四大化に伴う人員増、任期付事務職員等の一般職員登用等により、64百万円の増を見込んでいます。

○一般管理費は、マイナスシーリングによる経費節減や施設修繕等の減等により、56百万円の減を見込んでいます。

○施設費事業には、県補助金を財源とした大規模修繕等の事業を計上しています。

○受託事業等は、旧北東アジア地域学術交流財団寄附金事業費40百万円を計上し、文部科学省大学間連携共同教育推進事業等の採択による増等により、28百万円の増を見込んでいます。

○予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、12百万円を計上しています。

○支出総額は、2億66百万円減(▲8.0%)となっていますが、特定財源による支出を除くと28億75百万円で、前年度に比べ19百万円増(+0.7%)となっています。

※特定財源：運営費交付金(退手)、県補助金、外部補助金、受託研究等収入、旧NEAR寄附金、積立金取崩収入

4. 主な事業の概要

(1) 大学改革

●看護教育の将来計画検討事業(出雲C)〈新規〉	714 千円
-------------------------	--------

- ・検討委員会において、今後の看護教育のあり方を検討し、課題を明確化するために看護教育研修会の開催や他大学や医療機関等への調査を実施する。

(2) 学生確保

●キラキラドリームプロジェクト(松江C)〈新規〉	500 千円
--------------------------	--------

- ・学生が自主性、創造性等を發揮できる機会を提供するため、学生が自主的に企画する独創的で魅力的なプロジェクトのうち、コンテストで選考したプロジェクトに対して費用の一部を補助し、本学(短大部)の活性化、魅力化を図る。

●在校生による母校(高校)訪問プロジェクト(松江C)〈新規〉	150 千円
--------------------------------	--------

- ・各学科から推薦された学生が、夏季休講期間に母校(高校)の進路指導担当教員を訪問して、本学での学生生活について報告し、本学をPRする取組を実施する。

(3) 教育・学生支援

●「海外留学奨学金」制度の創設〈新規〉	4,305 千円
---------------------	----------

- ・日本人学生による海外留学を促進するため学長の許可を受けて協定留学(交換留学・派遣留学)する学生に奨学金を支給する。

※島根県立大学未来ゆめ基金充当予定事業

[交換留学(留学先授業料不徴収)]

奨学金月額・・・日本学生支援機構「留学生交流支援制度(短期派遣)」奨学金月額×1/2
(留学先大学所在地別：30千円/月～50千円/月)

[派遣留学(留学先授業料徴収)]

奨学金月額・・・日本学生支援機構「留学生交流支援制度(短期派遣)」奨学金月額
(留学先大学所在地別：60千円/月～100千円/月)

●海外研修奨学金(全学)〈拡充〉	13,300 千円
------------------	-----------

- ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、海外研修奨学金制度を継続・拡充し、研修を通じて異文化に深くふれ合うことで、大学のグローバル化を意識した学修の動機づけを図る。(H24実績) 94名
研修先(新規)：アメリカ(ハワイ)・オーストラリア

●大学院生学会発表等支援事業(浜田C)〈新規〉	1,549 千円
-------------------------	----------

- ・大学院生による研究成果の発表、学会参加を奨励し学術研究を促進させるため、大学院生が学会発表、学会参加する際の旅費等を助成する。

●「島根の地域医療」フィールドワークの実施(出雲C)〈新規〉	1,485 千円
--------------------------------	----------

- ・看護学部開設により新たに2年次生が受講する科目「島根の地域医療」において、離島、中山間地域をはじめとする地域医療の現状を学ぶため、グループ単位でのフィールドワークを実施する。

●「キャリア形成実習」の実施（浜田C）〈新規〉 892 千円

- ・2年次春学期に開講してきた「キャリア形成講座Ⅰ」の内容を座学・座学聴講型から双方向・現場参加型へ変更し、ベンチャー企業の設立や県内企業の取材を通じた実践的な実習を実施する。

●看護学部「キャリア支援」事業の実施（出雲C）〈新規〉 647 千円

- ・キャリア支援プログラムにおいて、離島、中山間地域での就職を卒業後の進路として検討する機会や看護職の接遇について学ぶ機会を提供するため、離島、中山間地域での看護研修やマナーアップ講座を実施する。

●「おはなしレストラン」事業（松江C）〈継続〉 8,520 千円

- ・平成21～23年度に実施したG P事業の成果を引継ぎ、絵本の読み聞かせを通じた学生の人間力育成のため、おはなしシェフの養成、出前シェフ、読み聞かせ教育の展開、広く県民を対象とした公開講座を実施する。

●学外巡回パトロール業務委託事業（浜田C）〈継続〉 1,229 千円

- ・学生の安全安心確保を図るため、大学構外周辺地域において夜間の巡回パトロールを業務委託により実施する。

（4）研究・国際交流

●島根国際学術シンポジウム2013事業（浜田C）【県補助】 17,034 千円

- ・県が展開する「神々の国しまねプロジェクト」の一環として、本学が培ってきた北東アジア研究を踏まえ、古代から現代までの北東アジア地域間交流の歴史や、対米関係も踏まえた北東アジア地域の将来展望をテーマとした、日・中・韓・露・米の研究者による国際学術シンポジウムを平成25年秋に開催する。

●教員研究費（学長裁量経費）（松江C） 7,000 千円

- ・若手研究者の育成、科研費等競争的資金の申請を促進する研究を充実させるとともに、年度中途において必要が生じた研究等に柔軟に対応するため学長裁量経費を増額する。
(H24予算) 4,975千円 → (H25予算) 7,000千円

（5）地域貢献

●学生地域ボランティア活動推進事業（全学）〈継続〉 660 千円

- ・学生が地域ボランティア活動等に安心して参加することができるよう、活動に際して発生する事故等に対する保険の保険料を大学が負担するとともに、窓口機能の強化、学生との意見交換会の開催等を通じて、学生ボランティア活動の推進を図る。

●キャンパスマイレージ事業〈継続〉 575 千円

- ・学生のボランティア活動やエコ活動をポイント化して蓄積し、地域活動及び社会的な実践活動を通じた社会貢献と学びの促進の動機付けとする。また、学生の活動実績はデータとして蓄積し、学内外へ情報発信したり本人の振り返りに活用する。
- ・蓄積されたポイントは、各キャンパスの創意工夫で学生に還元する。

(6) 県特殊要因経費補助金（大規模修繕等） 102,393 千円

●神々の国しまねプロジェクト分（再掲）	
・島根国際学術シンポジウム2013事業（嘱託人件費、旅費等）	17,034 千円
●通常分	
・浜田C：講堂映像音響機器整備事業	51,975 千円
・松江C：給食管理実習室厨房機器整備・設備工事等事業	33,384 千円

(7) 旧北東アジア地域学術交流財団（旧NEAR財団）寄附金事業 40,000 千円

〔主な事業〕	
・北東アジア学研究プロジェクト事業	1,000 千円
・北東アジア学図書出版事業	2,500 千円
・共同プロジェクト研究助成事業	6,500 千円
・地域貢献プロジェクト助成事業	3,900 千円
・学術図書出版助成事業	2,000 千円
・国際学術交流事業	4,885 千円
・研究者等招へい派遣助成事業	1,000 千円
・交流県留学生教育支援事業（奨学金、語学研修）	8,380 千円
・大学院留学生教育支援事業（奨学金、語学研修）	8,635 千円
・国際文化交流促進事業	1,200 千円